

住宅困窮状況申告書

(該当する事項を○で囲んでください。)

- (1) 現住宅が住居として不相当である。
- ア 極度に老朽化している住宅に居住している。
 - イ 保安上特に注意を受けている住宅に居住している。
 - ウ 衛生上極度に悪い住宅に居住している。
 - エ 不完全な転用住宅、又は応急住宅に居住している。
- (2) 住宅がないため家族と別居している。
- ア 夫婦が別居している。
 - イ 親子が別居している。
 - ウ 父母・兄弟等と別居している。
 - エ 上記以外の親族と別居している。
- (3) 間借り、又は狭い住宅に住んでいる。
- ア 居住している部屋の広さが1人当たり3畳以下である。
 - イ 部屋が1室だけである。
 - ウ 間借りにより苦痛を受けている。
- (4) 立退き要求を受けている。
- ア 裁判の判決調停が決定し、明渡し期限が経過している。
 - イ 同上期限が半年以内にせまっている。
 - ウ 立退きを要求され、極度の紛争におちいつている。
 - エ 立退きを要求されている。
- (5) 遠距離通勤者である。
- ア 通勤に要する時間が片道2時間以上である。
 - イ 通勤に要する時間が片道1.5時間以上である。
 - ウ 通勤に要する時間が片道1時間以上である。
- (6) その他特殊事情がある。
- ア 公共事業の執行により立退きを必要としているが移転先がない。
 - イ 長期療養患者と雑居している。
 - ウ 婚約が成立しているが住宅がないので、結婚できないでいる。
 - エ 災害により住宅がない。
 - ホ その他（具体的に記入）

[]

※ 申請書に添付する書類

- ・住宅困窮状況申告書（本用紙）
- ・所得証明書又は源泉徴収票
- ・納税証明書
- ・世帯全員の住民票又は外人登録証明書
- ・立退き要求のある場合はその証明書
- ・婚約証明書
- ・その他